

[決算審査特別委員会]

委員長報告（案）・口頭指摘（案）に対する意見

指摘	番号	意見・質問	区分	分科会
文書	6	<p>債権回収のあり方について（県土・総務）</p> <p>文書中、「複数の担当課にまたがる滞納者の情報の共有や債権管理に関する規定の整備を含めた徴収体制の強化を推進」とあるが、債権によって性質は様々であり、事業にそった対応が求められること、また行政情報を行政機関が一方的に共有することはプライバシー保護の観点からもふさわしくない。</p> <p>現在の事業ごとに債権者の実態にあわせた対応をすることが、結果的に問題解決につながると考えるので、この部分は削除すべきである。</p>	意見	地域振興県土警察
	8	<p>学力向上の取組みと基本的な生活習慣の定着や意欲・関心の向上について（教育）</p> <p>全国学力学習状況調査の結果や難関大学の進学は、「学力」の一側面の評価に過ぎず、また平均点との比較評価は絶対評価でなく相対評価であり、その結果を持って、「学力が低い」と判断するのは妥当ではないと考える。</p> <p>全国学力学習調査の結果を下敷きに対策を考えることは、一面的な学力向上対策に追われ、人間的な成長や生きる力の形成に目が行かなくなる危険性があるので、この指摘は削除すべきである。</p>	意見	総務教育
口頭	4	<p>公益財団法人鳥取県国際交流財団の運営について（観光）</p> <p>「日本語クラス」は、単に言葉を学ぶだけのものではなく、生活する上でのコミュニケーションを身につけ、交流することで安心感を持つことができるセーフティネットの場であり、外国人技能実習生の監理団体の「言葉の学校」とは目的も意味合いも違う在日外国人に広く開かれた場である。</p> <p>「日本語クラス」のあり方の再編を迫ることはよろしくないため、この指摘事項は削除すべきである。</p>	意見	地域振興県土警察